

天文学とプラネタリウム 第16回

ATP第2弾 12星座バージョン デザイン進行中！

天プラ企画書 on 星ナビ

ー 楽しく天文学を遊ぶ ～ あすとろかるたー



高梨直純 (東大D1/天文学教育研究センター所属)

平松正顕 (東大D1/国立天文台ALMA推進室所属)

「まうなけあ～ うちゅうみとすす～ すばるのめ～」 「はいっ！」

元気な掛け声と共に舞い上がるすばる望遠鏡やアンドロメダのカード。そう、今回ご紹介するプロジェクトは天文学を題材にしたカルタです。ゲームとして遊びながら楽しく天文学に触れ、繰り返すうちに頭には自然とたくさんのフレーズが残っていきます。そんなカルタの製作が、現在進行中です。

1. コンセプト

『楽しく天文学と触れ合う』というのは天プラの大きな目標ですが、それに最適なのはやっぱり楽しく遊べるゲームです。それは、天プラ企画のタイピングゲーム『宇宙打(ソラウチ)』の人気を見ても明らかです。次は子どもから大人までパソコンを使わずに何人でも遊べるゲームを、というわけで、カルタの登場です。(既に星座カルタについては優秀なものがいくつか出ていますが…)

右の写真はイメージ図です。取り札の表面には句とかわいらしいイラストを掲載し、小さな子どもでも楽しめるようにします。一方で裏面には実際の天体写真と詳しい解説をつけ、さらに読み札にはデータ集やトリビアも掲載し、より詳しい情報へのアクセスを可能にします。

このカルタ、工夫次第で色々な遊び方ができます。例えば取ったカルタの説明をしないと得点にならない(中級者向け)とか、詠み句ではなく解説の方を読んで札を取る(上級者向け)などはどうでしょう？遊びながら自然に天文学の知識がついていきます。

今挙がっている詠み句案を2つ紹介しましょう。『へびつかい おうしおりおん かめれおん』さてこの4つの星座に共通する項目は何でしょ

う？ 答えは活発に星が誕生している領域がある星座たちです。普段見上げる星座の中で、今も星が生まれている。そんなダイナミックな宇宙を感じさせる句です。

『うちゅうりょこう とけいあわせは ばるさーで』

パルサーとは、規則正しい周期で電磁波を放出している天体で、正体は重い星が超新星爆発した後にできる中性子星と考えられています。中には1秒に数百回転という超高速自転をしている天体もあります。

2. カルタの今後 一詠み句募集中！

このカルタ、現在は天プラのウェブページ内で詠み句の募集を行っています。「これは！」という天文学五七五が浮かんだら、ぜひ投稿してください。投票によって採用された句をもとにカルタを作成しますが、市販の名刺印刷用紙サイズにあわせて作ってウェブからダウンロードしていただくとか、しっかりしたカードに印刷して科学館にお配りすることなどを考えています。そこかしこの科学館や児童館で、あすとろかるた大会が開かれるようになったらいいなと考えています。ご期待ください。

※『あすとろかるた』は、日産科学振興財団 理科環境教育助成をもとに製作されます。



あすとろかるたのイメージ図。取り札表面(右)、裏面(中)、読み札(左)です。天文カードとしても楽しめそうですね。



チリ-アメリカ出張で立ち寄ったアメリカの巨大電波天文台 VLAで映画『コンタクト』ごっこをする平松。VLAのスケールの大きさにはびっくりです。いつかコイツを使って観測してやりたい！

(右上) 高梨がサンフランシスコ出張中に見つけたATPもどき。中味は普通のトイですが、包装紙に太陽や星が書いてありました。